

14 インフラメンテナンス予算の確保について

長野県の状況

【農林水産省・林野庁・国土交通省】

● 老朽化する社会基盤施設の適切な維持管理・更新が急務

- ・ 建設後50年を経過する社会基盤施設が、令和15年には道路橋の約63%、トンネルの約42%、河川管理施設の約62%、下水道管渠の約21%、基幹的農業水利施設の約44%に達する見込み
- ・ 今後も社会基盤施設を適切に維持管理していくためには、**予防保全の考えに基づいたメンテナンス**を行うことが重要
- ・ **着実に進行する社会基盤施設の老朽化**に対応するためには、膨大な予算が必要となることから、インフラメンテナンスのための**予算を安定的・継続的に確保**することが必要

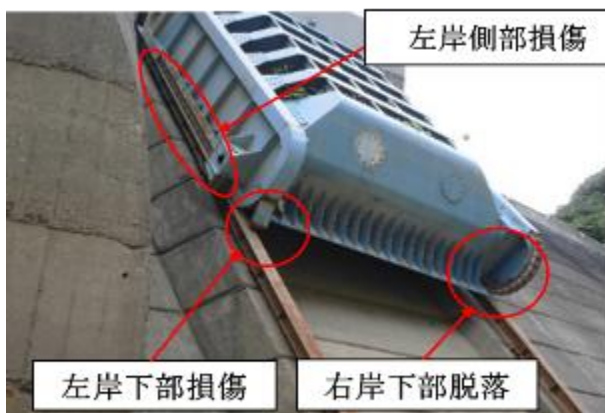
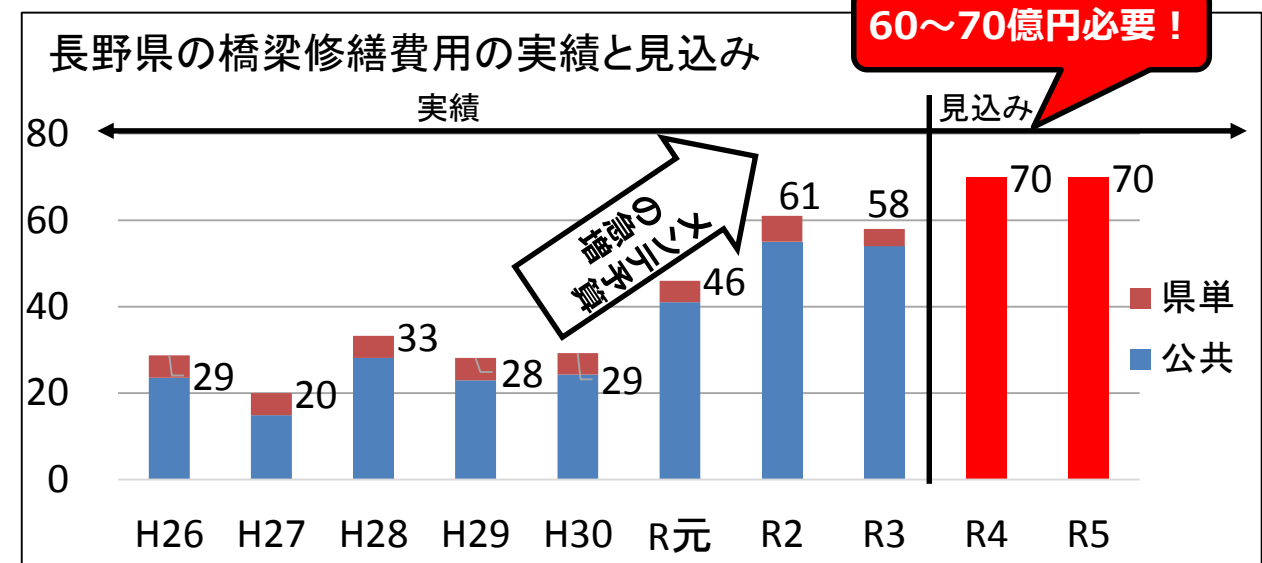
取組

○ 道路施設

- ・ 橋梁・トンネル等の法定点検は平成30年度で一巡目が完了
- ・ 橋梁では約25%が早期に措置を講ずべき状態
- ・ 次回点検までに**修繕が必要な県管理橋梁は約990橋**
- ・ 二巡目点検が完了する令和5年度までに修繕を終えるためには、**年間60~70億円**の予算が必要
- ・ **舗装**等の法定点検対象外施設も、修繕が喫緊の課題

○ 河川施設

- ・ ダム等の重要河川施設の**長寿命化計画**を策定
⇒ **予算の不足により計画に沿った維持管理・更新に遅れ**
- ・ 計画を上回るスピードで貯水池内の堆砂が進行し、**早急な堆砂対策が必要**
県管理17ダム中、5ダム（裾花ダム、奥裾花ダム、湯川ダム、松川ダム、片桐ダム）**で計画堆砂ダム100%超え**



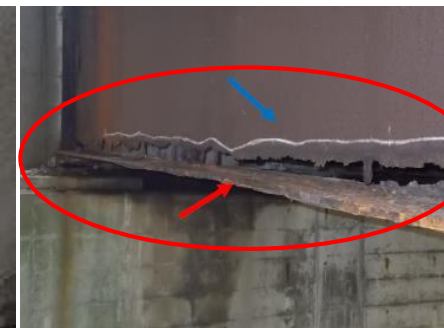
裾花ダム2号予備ゲートの老朽化状況



奥裾花ダムの堆砂状況



砂防堰堤の基礎洗掘



橋梁の桁のひび割れ、腐食

○砂防施設

- ・平成30年7月豪雨を受け、**石積砂防堰堤の緊急改修**を実施
- ・**緊急浚渫推進事業債**を最大限活用し、堆積土砂の浚渫を実施

○下水道施設

- ・**下水処理場は代替がきかない施設**のため、故障は日常生活や社会活動に**重大な影響**
- ・県内の処理場は108(全国第3位)あり、**約9割が耐用年数超過**

○公園施設

- ・**公園施設老朽化対策**を県内23市町村と共に実施

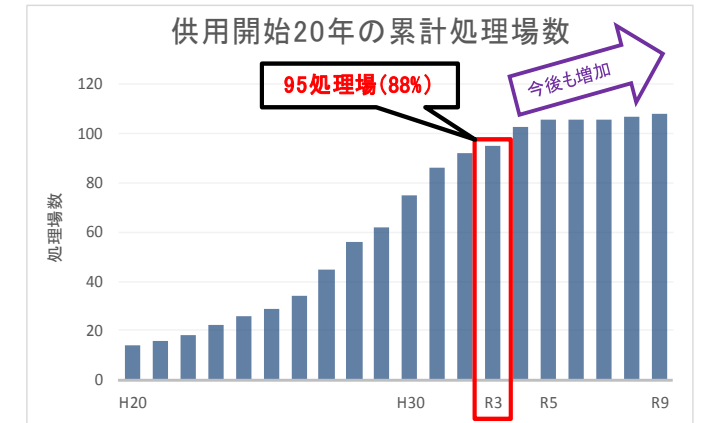
○農業水利施設

- ・機能保全計画に基づき、**基幹的農業水利施設の計画的な長寿命化**を実施

○県営住宅

- ・県営住宅ストックの有効活用や長寿命化を図りながら、居住環境の改善を図るため、「**県営住宅『5R』プロジェクト**」を推進

【下水道】



遊具の老朽化状況



課題

- **着実に進行するインフラの老朽化対策**を行っていくためには、**予防保全に基づくメンテナンスサイクル**を徹底し、**ライフサイクルコストを一層低減**させることが必要
- 予防保全に基づき、**適切かつ計画的な維持管理・更新**を進めていくためには**継続的な予算の確保**と**地方負担軽減**が必要
- **公共施設等適正管理推進事業債**について、**令和3年度までの事業期間**となっており、さらに公共用の建築物の長寿命化事業においては、**公用施設や公営住宅の改修事業は対象となっていない**

令和2年12月には、「**防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策**」が閣議決定され、中長期的なトータルコストの縮減を図るため、**早期に対策が必要な施設を集中的に実施し、予防保全型のインフラメンテナンスへの転換**を図るとされた

提案・要望

インフラの長寿命化対策への支援

地方自治体が、予防保全の観点から**インフラの長寿命化対策**を着実に進められるよう、今後も必要な予算を**安定的・継続的に確保**するとともに、**公共施設等適正管理推進事業債**を延長すること